

道内の感染状況等について

















【令和3年5月20日】

主な指標の状況(全道)

	医療提供体制等の負荷			監視体制	感染状況		
	病床全体	うち重症者用病床	療養者数	検査陽性率	新規感染者数	先週1週間との比較	感染経路不明割合
全道 (5/19)	961 床 ↑	43 床 ↑	6180 人 ↑	9.9% ↑	3870 人/週 (73.0人) ↑	1.36 ↑	58.9% ↑
道ステージ5基準 (国ステージⅣ)	900床	90床	1327人	10%	1327人/週 (25.0人)	増加	50%
道ステージ4基準 (国ステージⅢ)	350床	35床	796人	10%	796人/週 (15.0人)	増加	50%

※()は10万人あたりの新規感染者数 ※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較

特定措置区域の主な指標の状況

	監視体制	感染状況		
	検査陽性率	新規感染者数	先週1週間との比較	感染経路不明割合
札幌市 (5/19)	11.4% 	2486人/週 (127.1人) 	1.30 	70.8% 
石狩振興局 (札幌市を除く) (5/19)	18.0% 	422人/週 (100.0人) 	1.56 	46.0% 
小樽市 (5/19)	5.9% 	77人/週 (66.1人) 	0.87 	27.3% 
旭川市 (5/19)	4.5% 	142人/週 (42.1人) 	1.53 	54.2% 

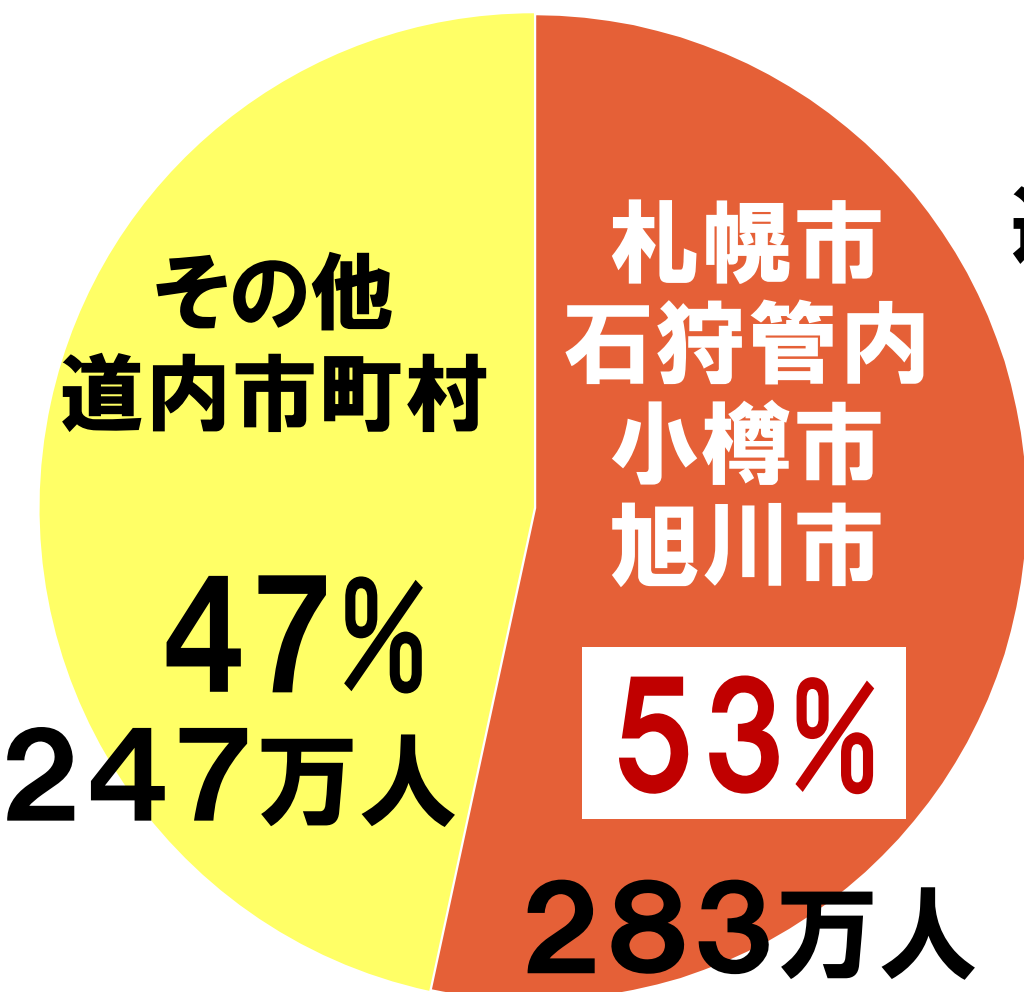
※()は10万人あたりの新規感染者数

※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較

特定措置区域の感染者数の割合

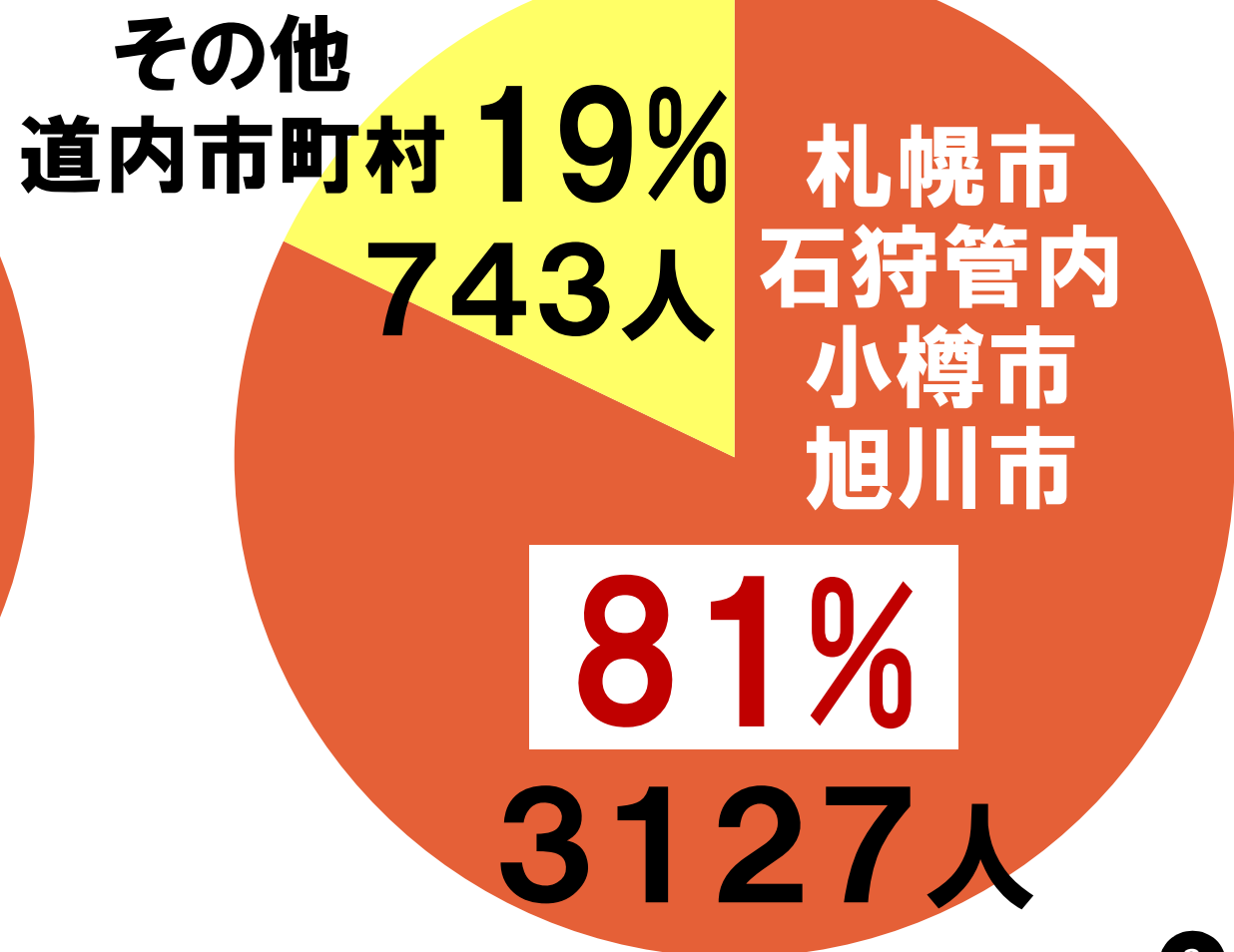
住基人口

(H31/1/1)



新規感染者数

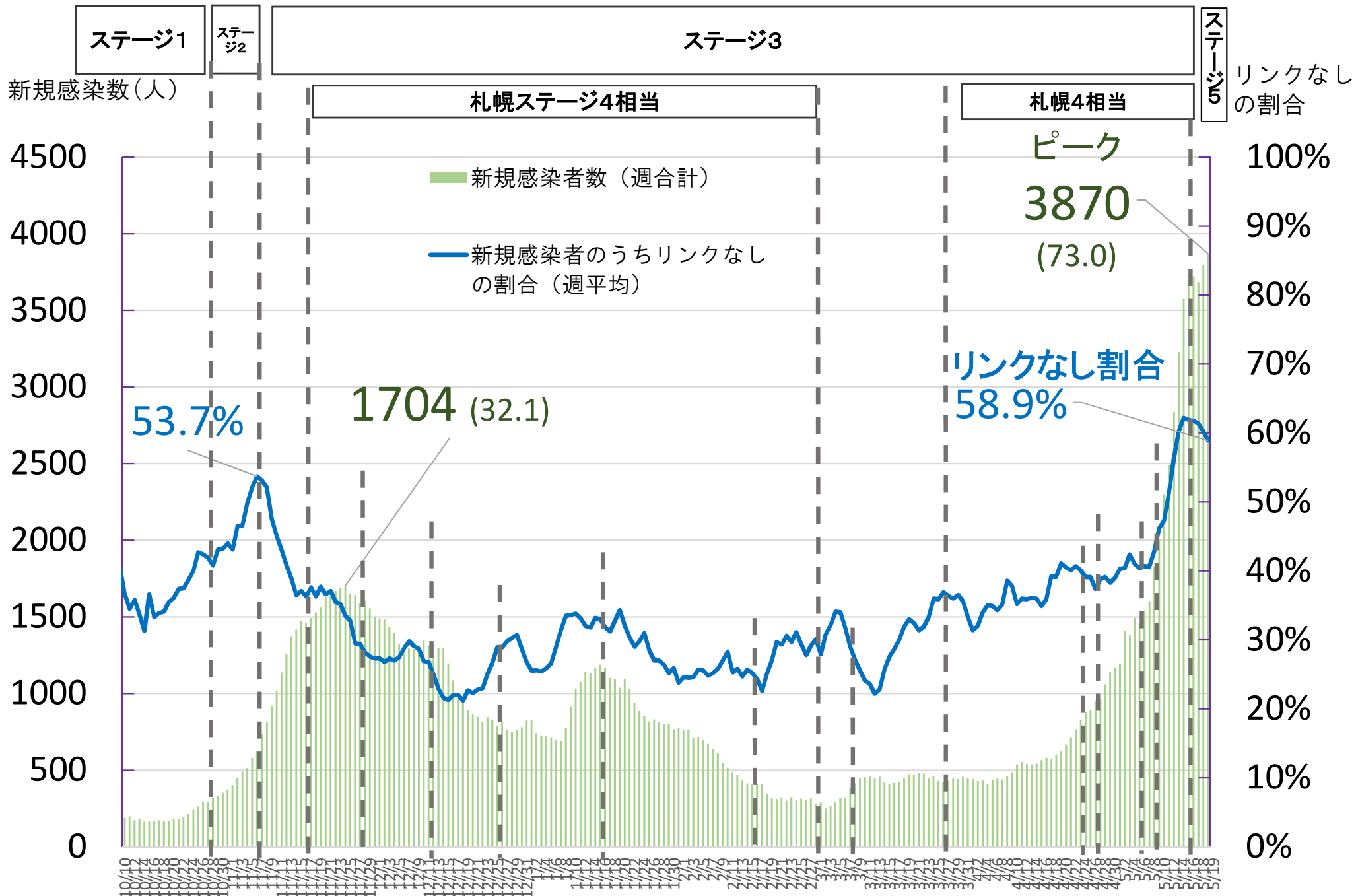
(5/19 7日間合計)



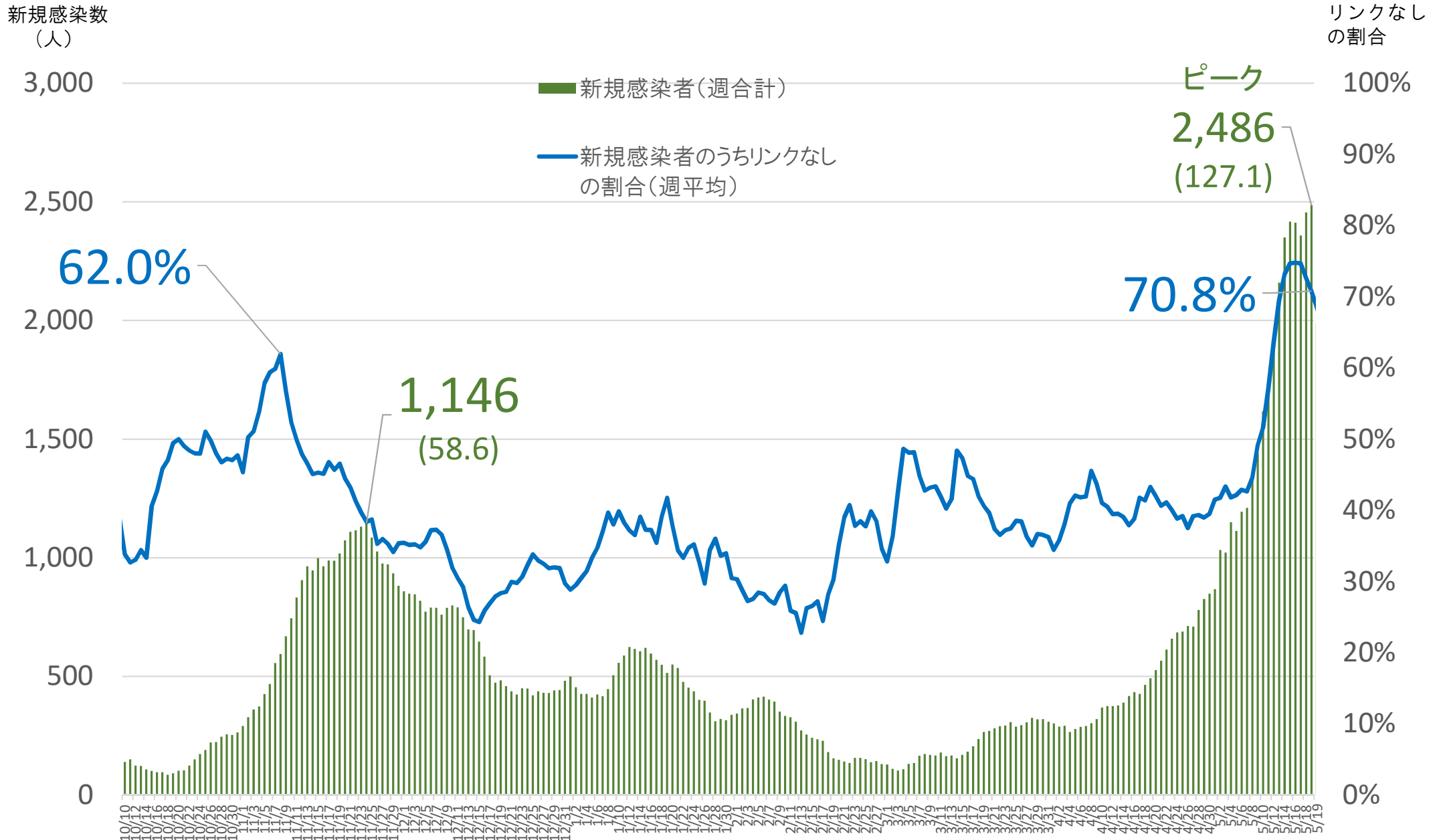
国の分科会提言で示された新たな指標(全道)

	医療提供体制等の負荷				監視体制 ③PCR陽性率	感染の状況		
	①医療の逼迫具合					②療養者数	④新規陽性者数	⑤感染経路不明割合
	入院医療		重症者用病床					
全道 (5/19)	確保病床の使用率 53.1%	入院率 15.6%	確保病床の使用率 26.5%	116.5人	9.9%	73.0人	58.9%	
国 ステージⅣ の指標	確保病床の使用率 50%以上	入院率 25%以下	確保病床の使用率 50%以上	30人 /10万人以上	10%以上	25人 /10万人/週以上	50% 以上	
国 ステージⅢ の指標	確保病床の使用率 20%以上	入院率 40%以下	確保病床の使用率 20%以上	20人 /10万人以上	5%以上	15人 /10万人/週以上	50% 以上	

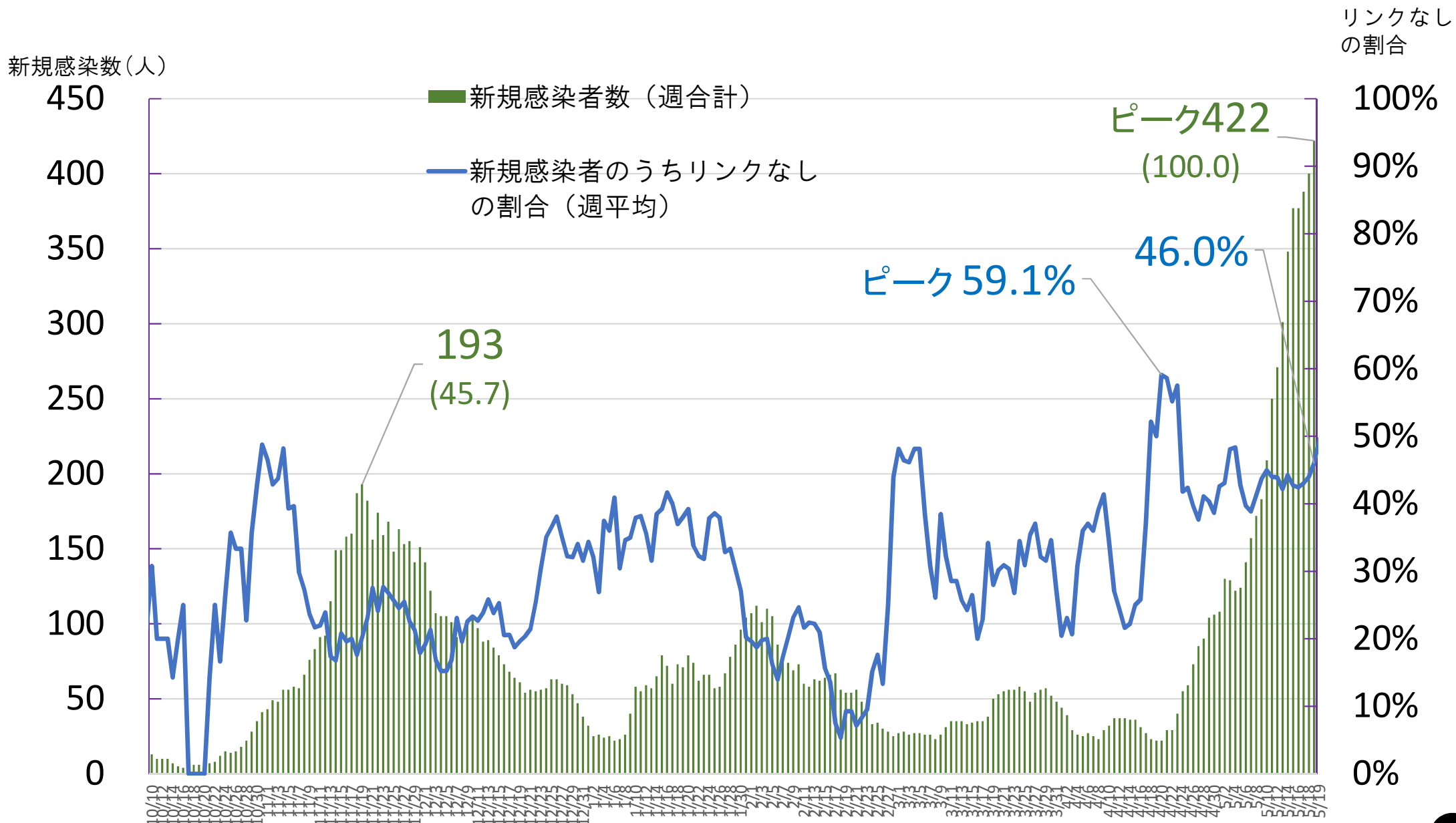
感染状況(全道)



()は10万人当たり人数



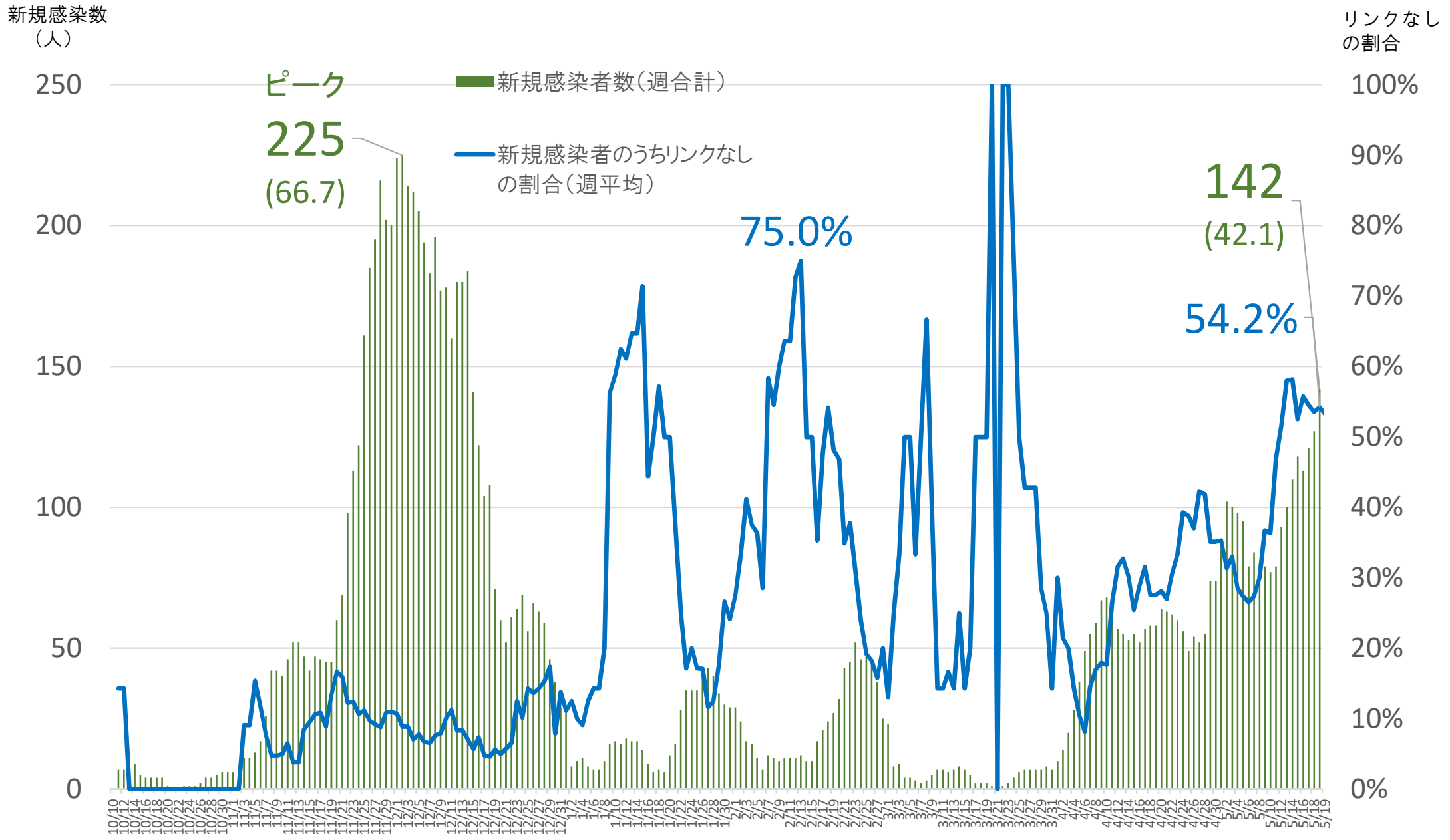
()は10万人当たり人数



()は10万人当たり人数

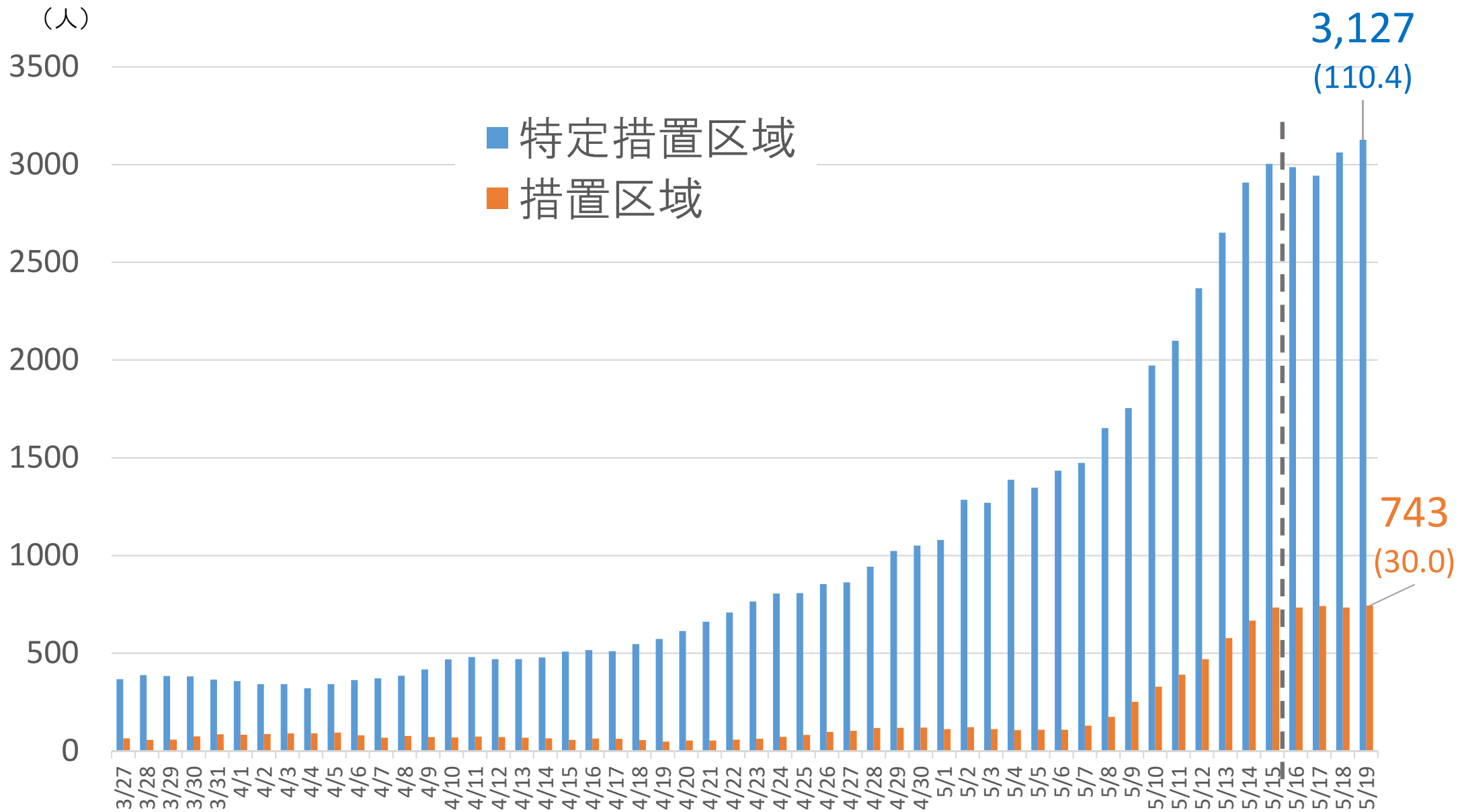
特定措置区域

旭川市の感染状況



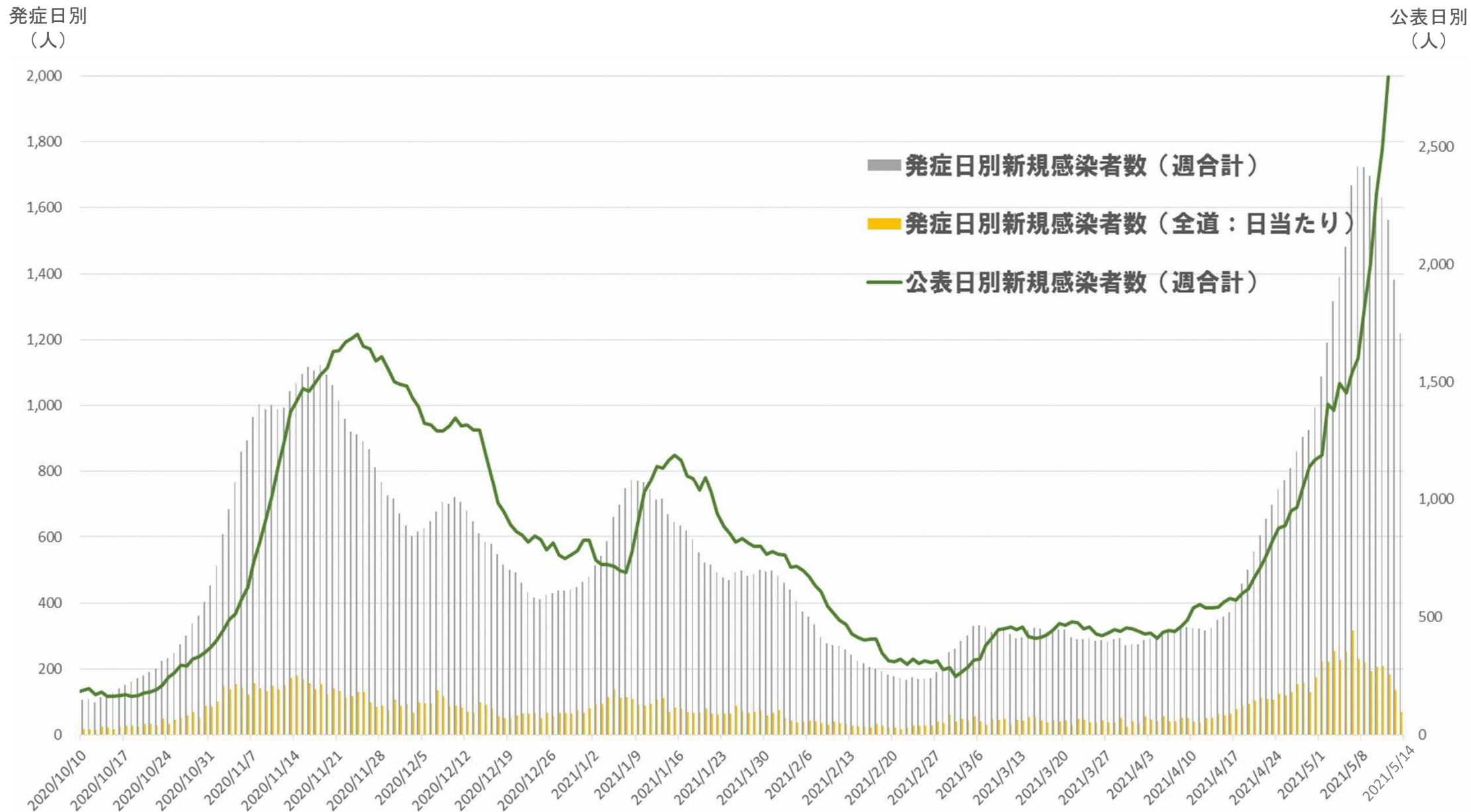
()は10万人当たり人数

新規感染者数(特定措置区域／措置区域)



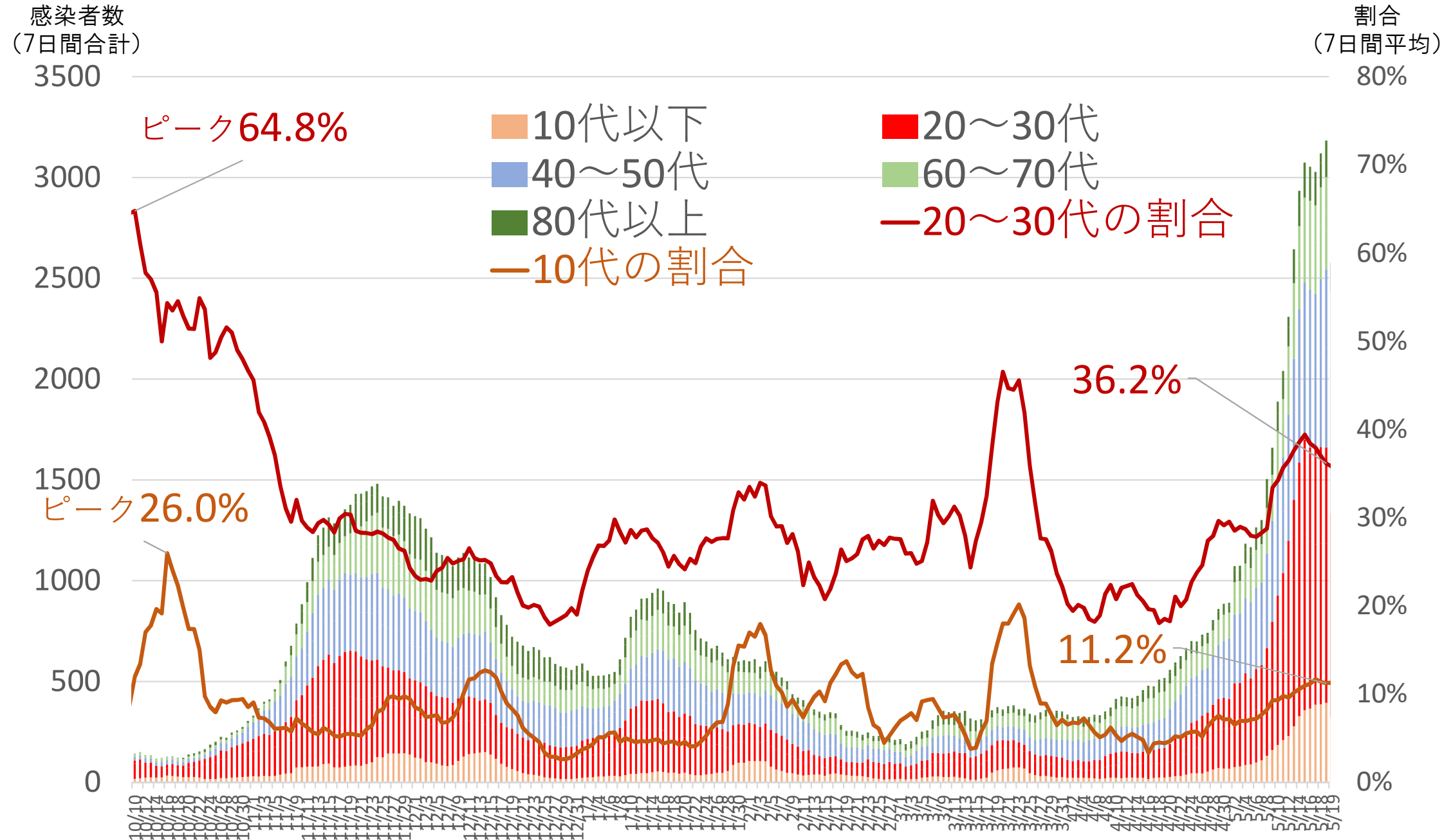
()は10万人当たり人数

発症日別～公表日別の新規感染者数(全道)



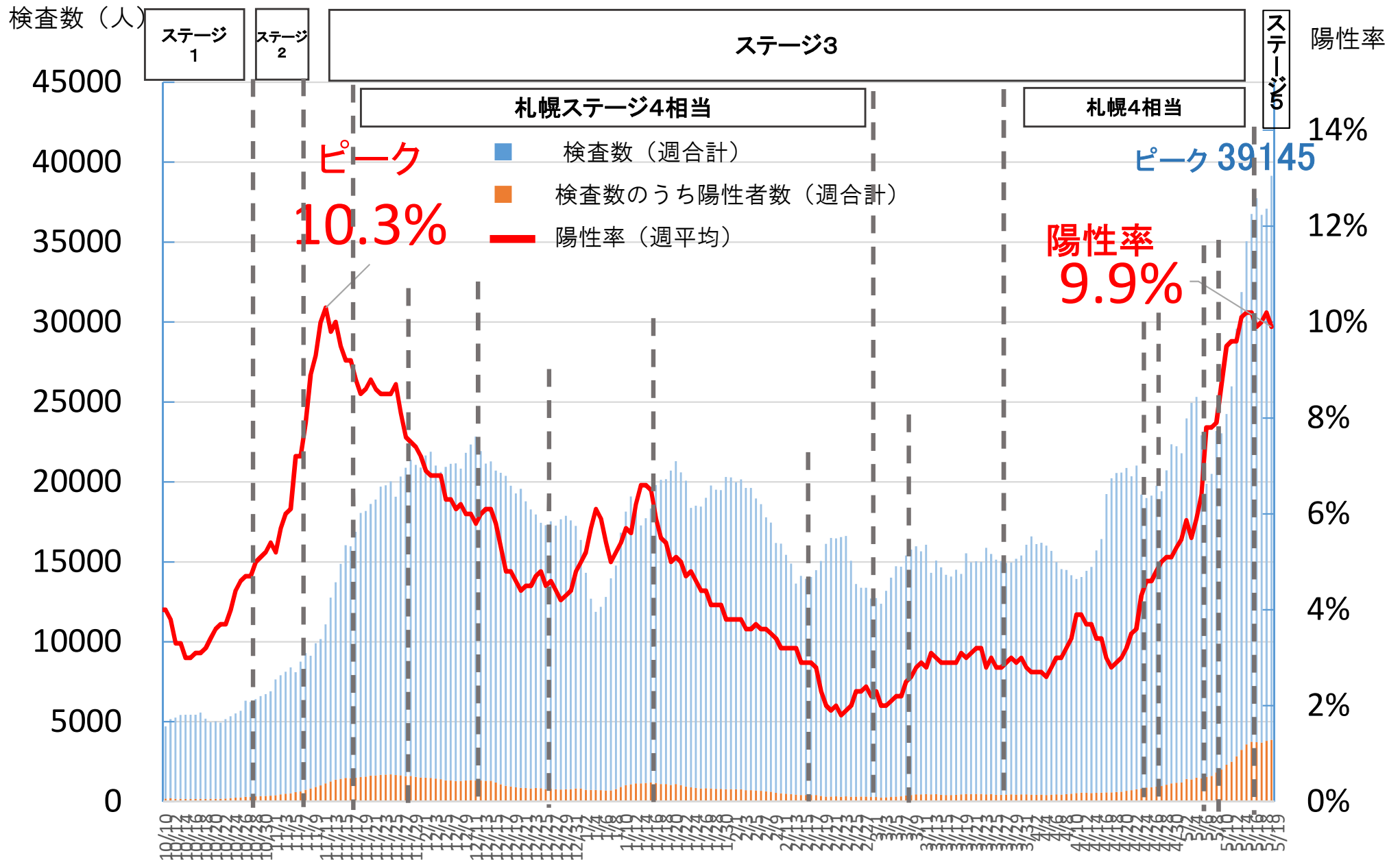
※発症日別新規感染者数については、調査に時間を要するため、数日前のデータとなる。
※無症状者及び発症日不明者があるため、発症日別と公表日別の公表人数が異なる。

年代別感染者数と20代～30代の割合(全道)

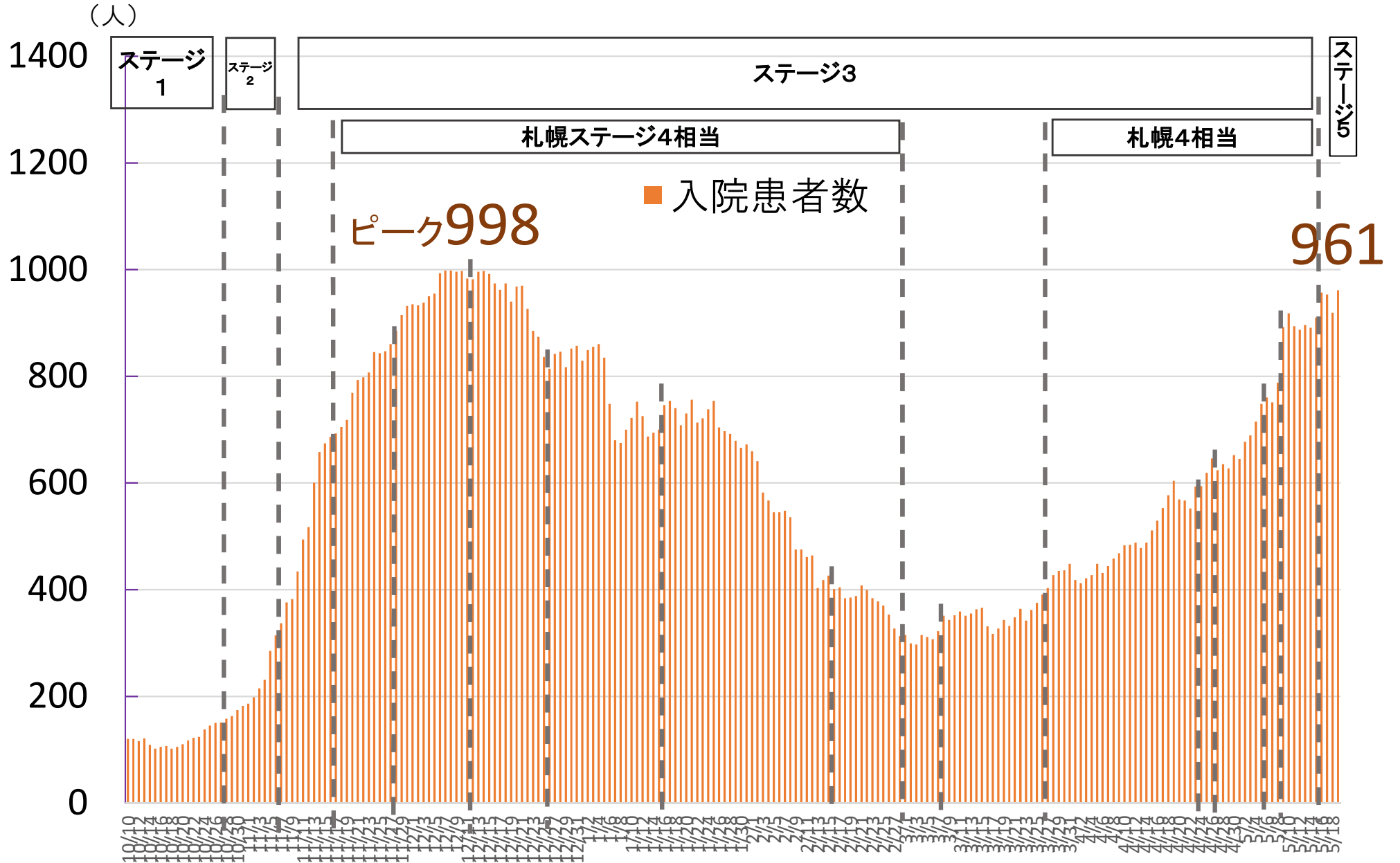


(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

監視体制(陽性率と検査数)(全道)

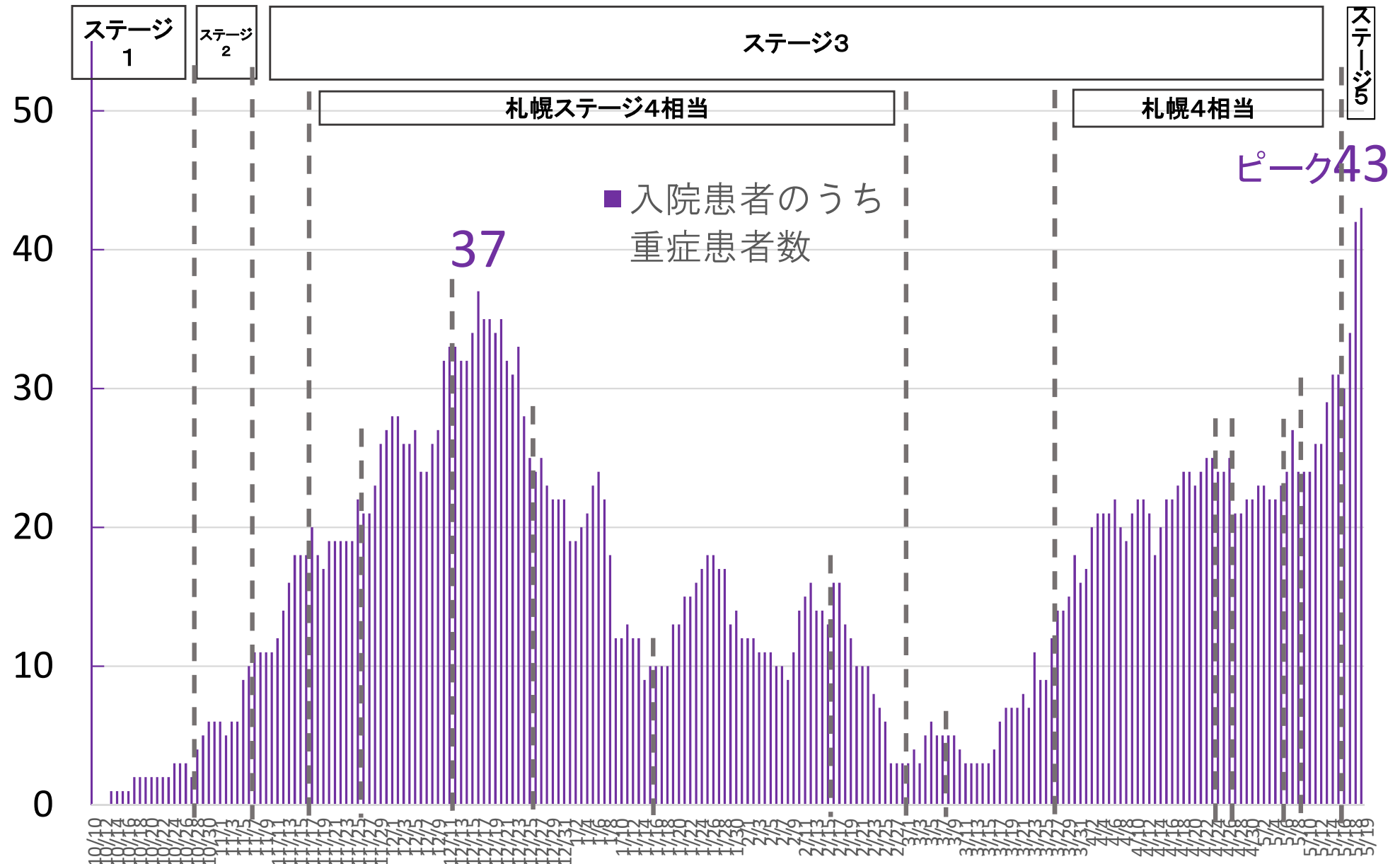


医療提供体制等の負荷(病床全体)(全道)

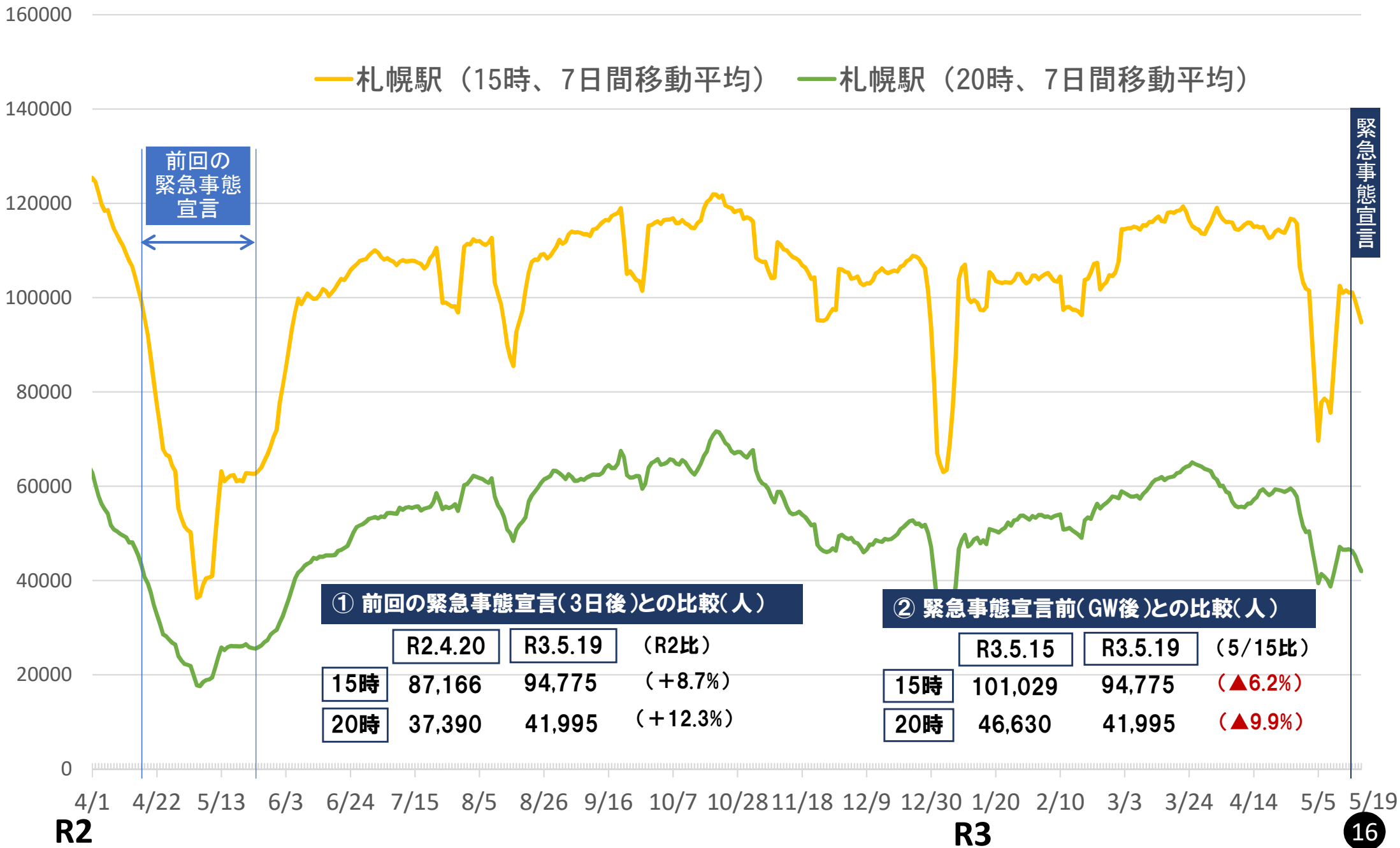


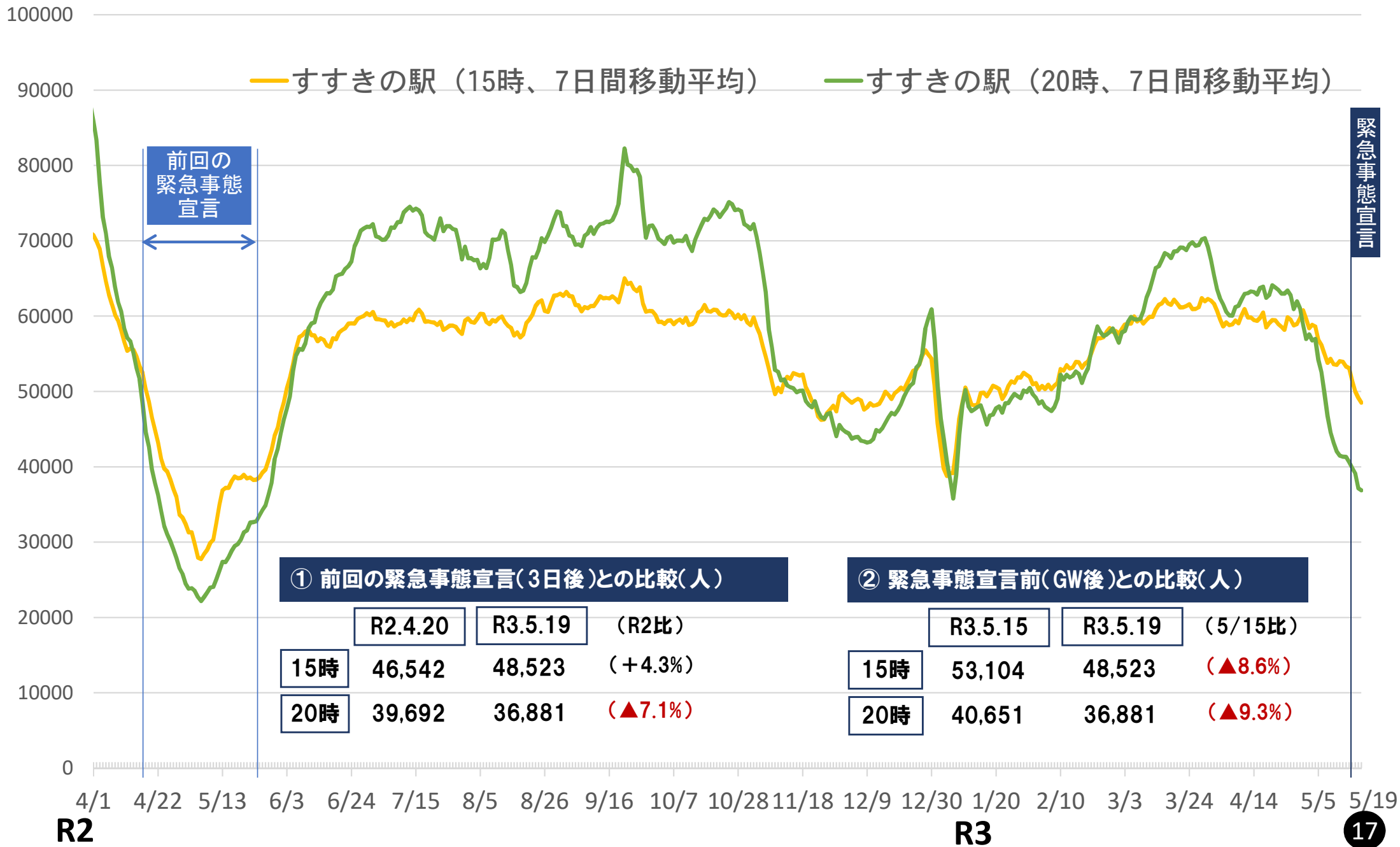
医療提供体制等の負荷(重症者用病床)(全道)

(床)

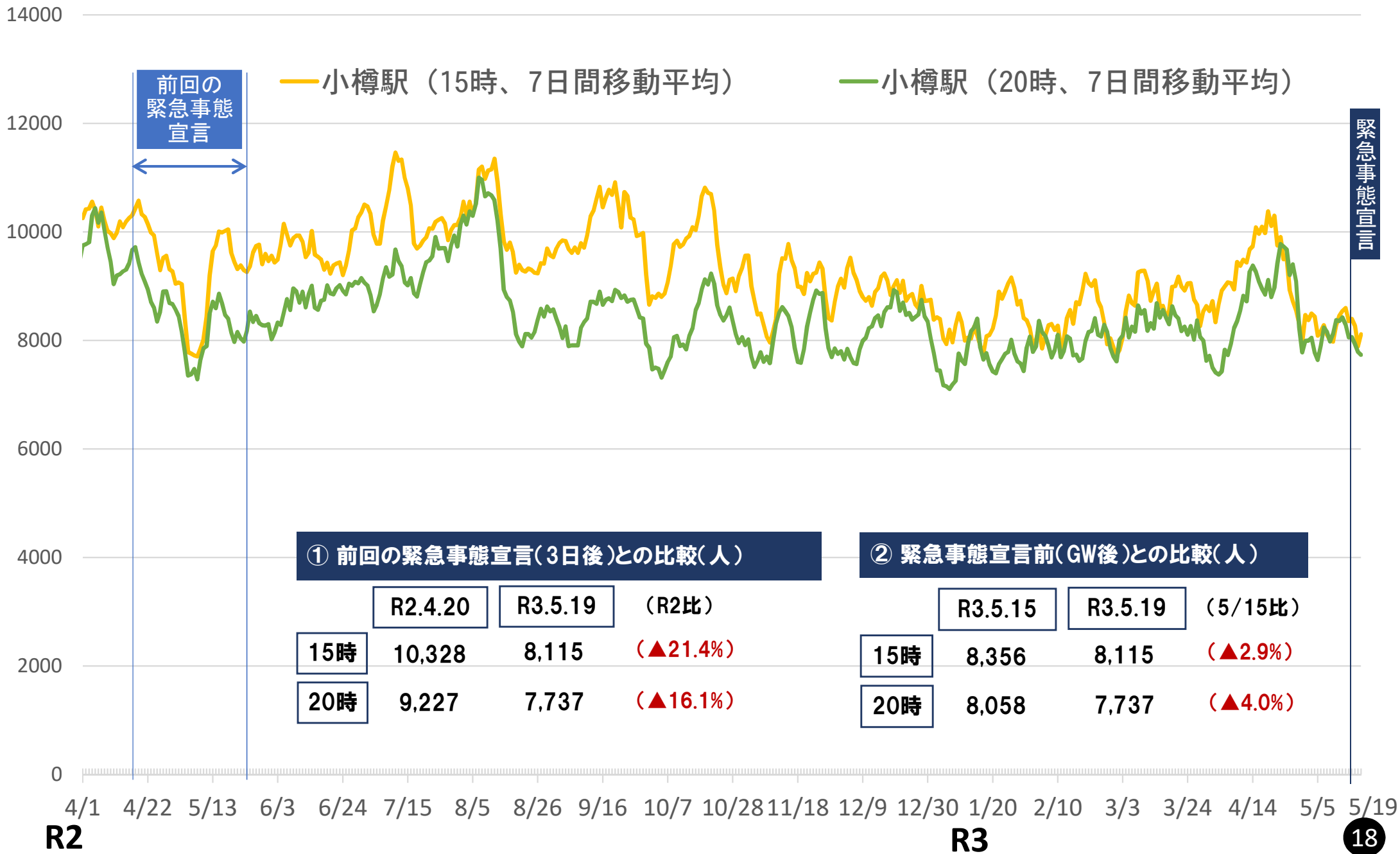


札幌駅周辺の人出

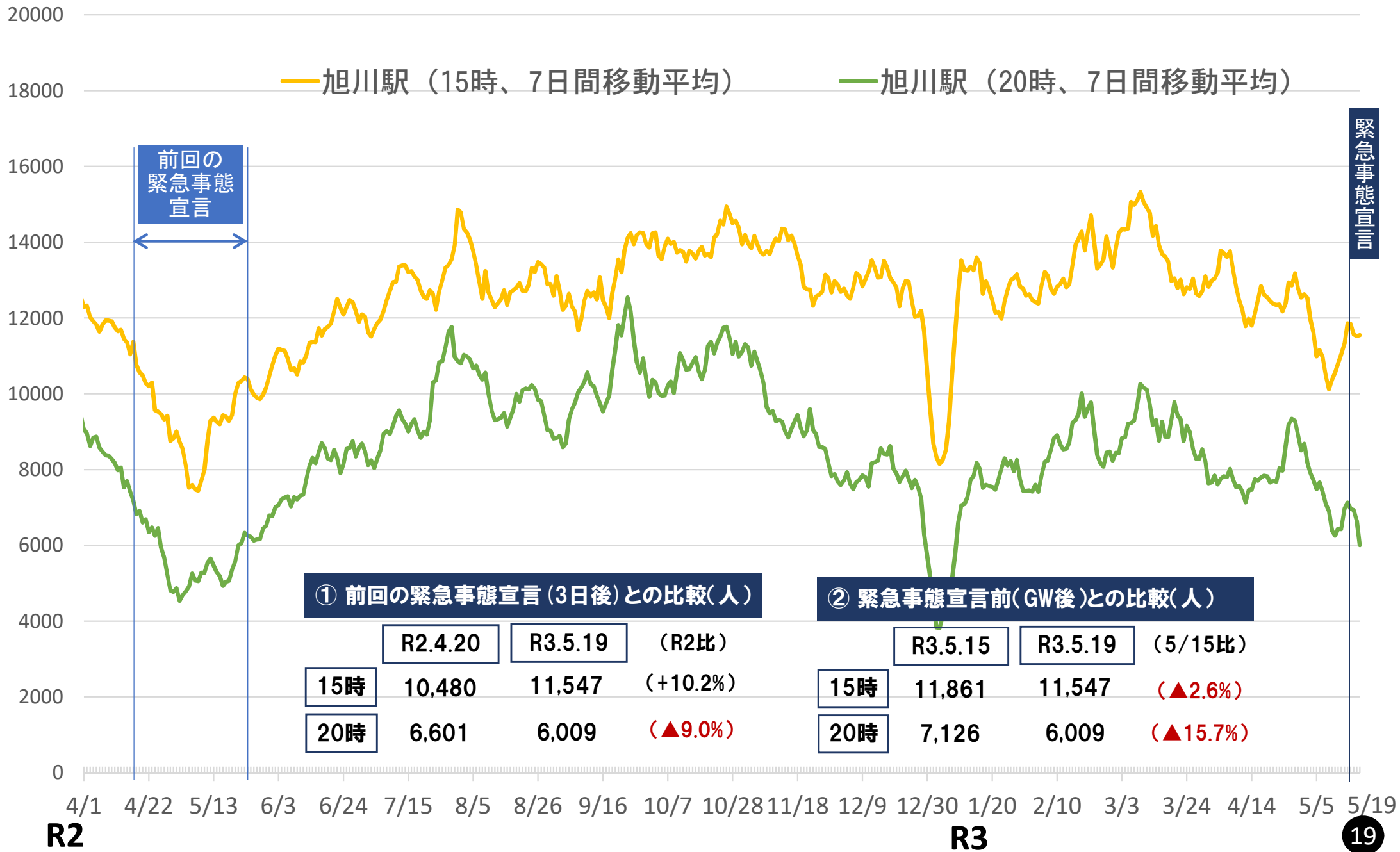




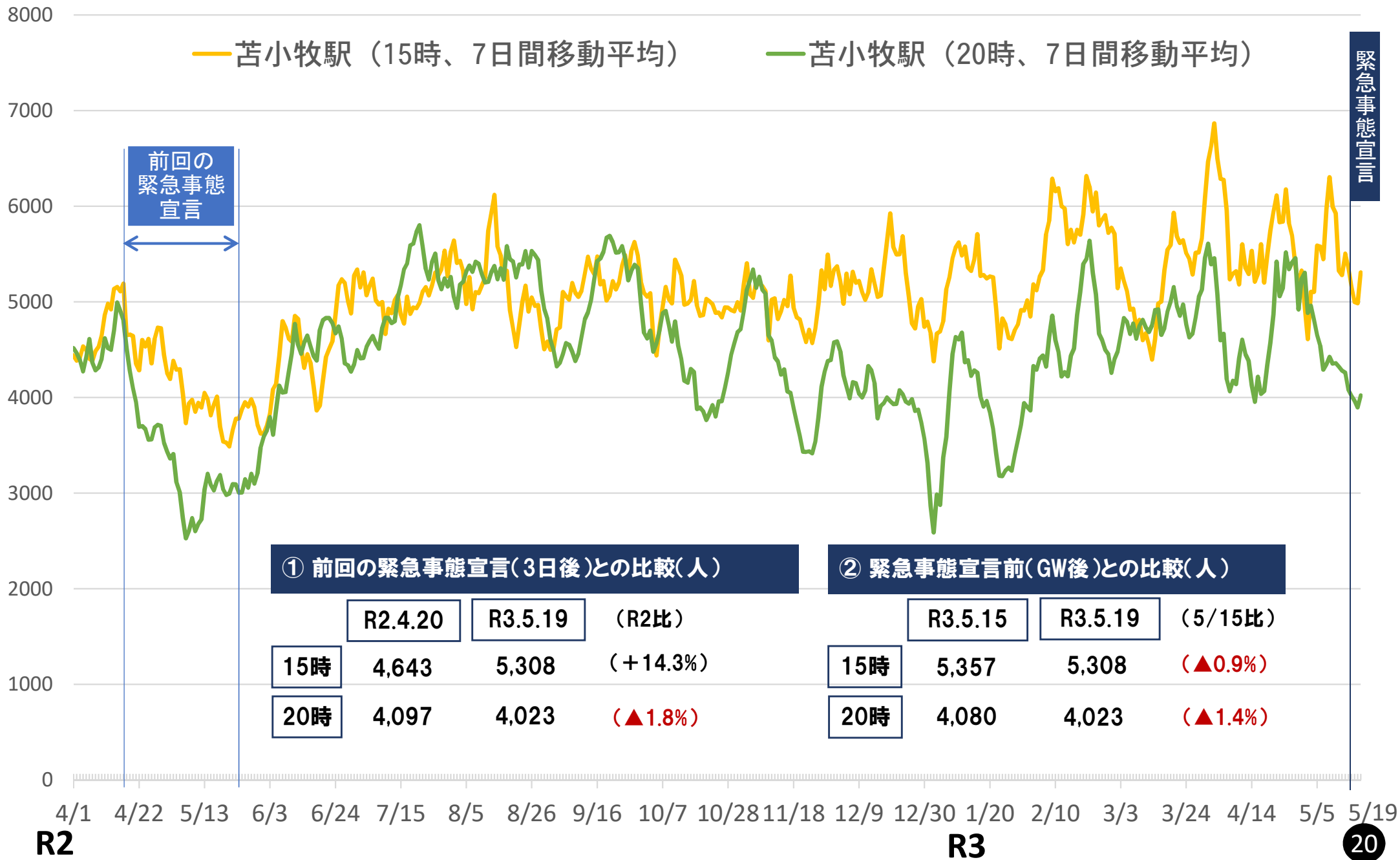
小樽駅周辺の人出



旭川駅周辺の人出



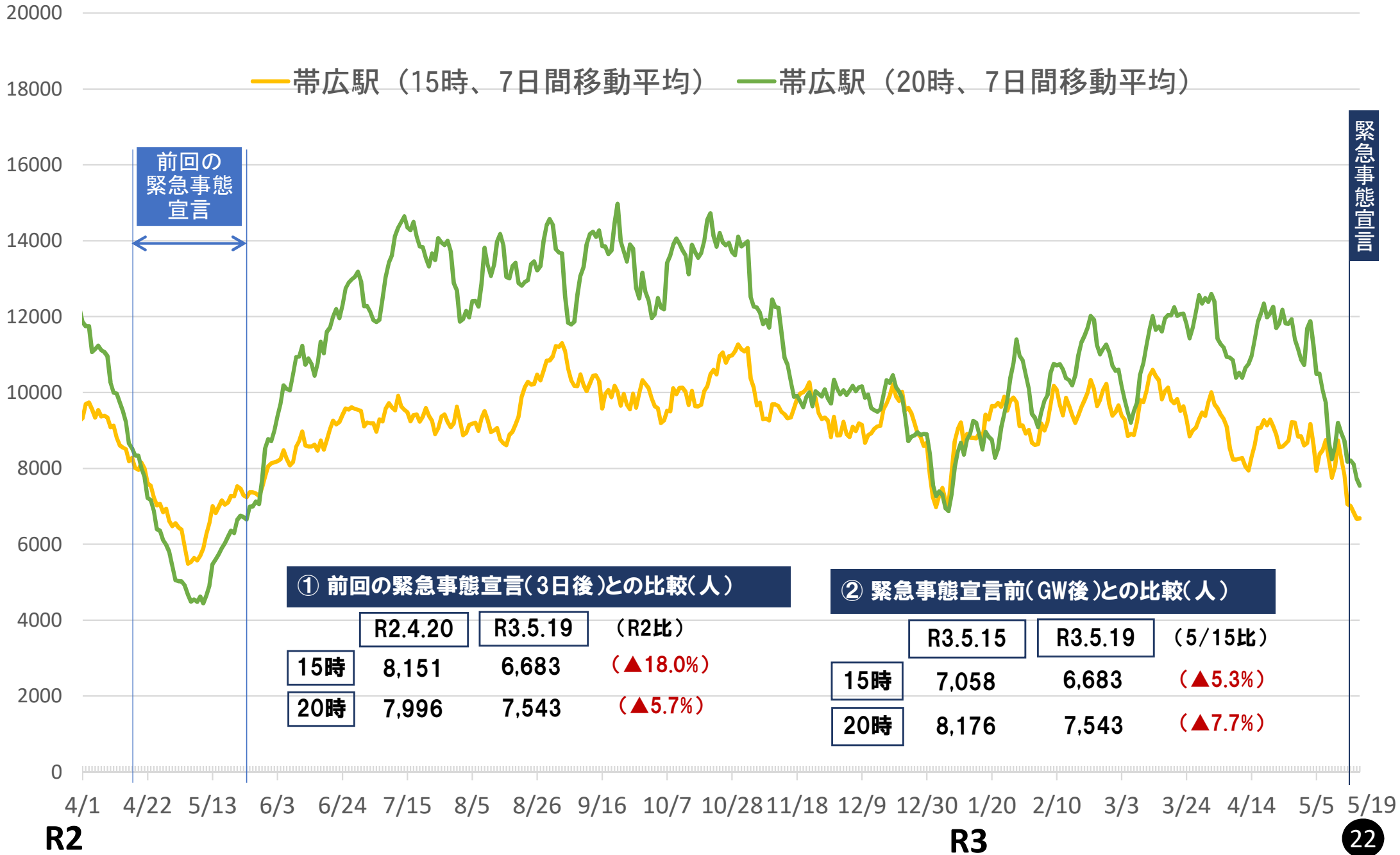
苫小牧駅周辺の人出



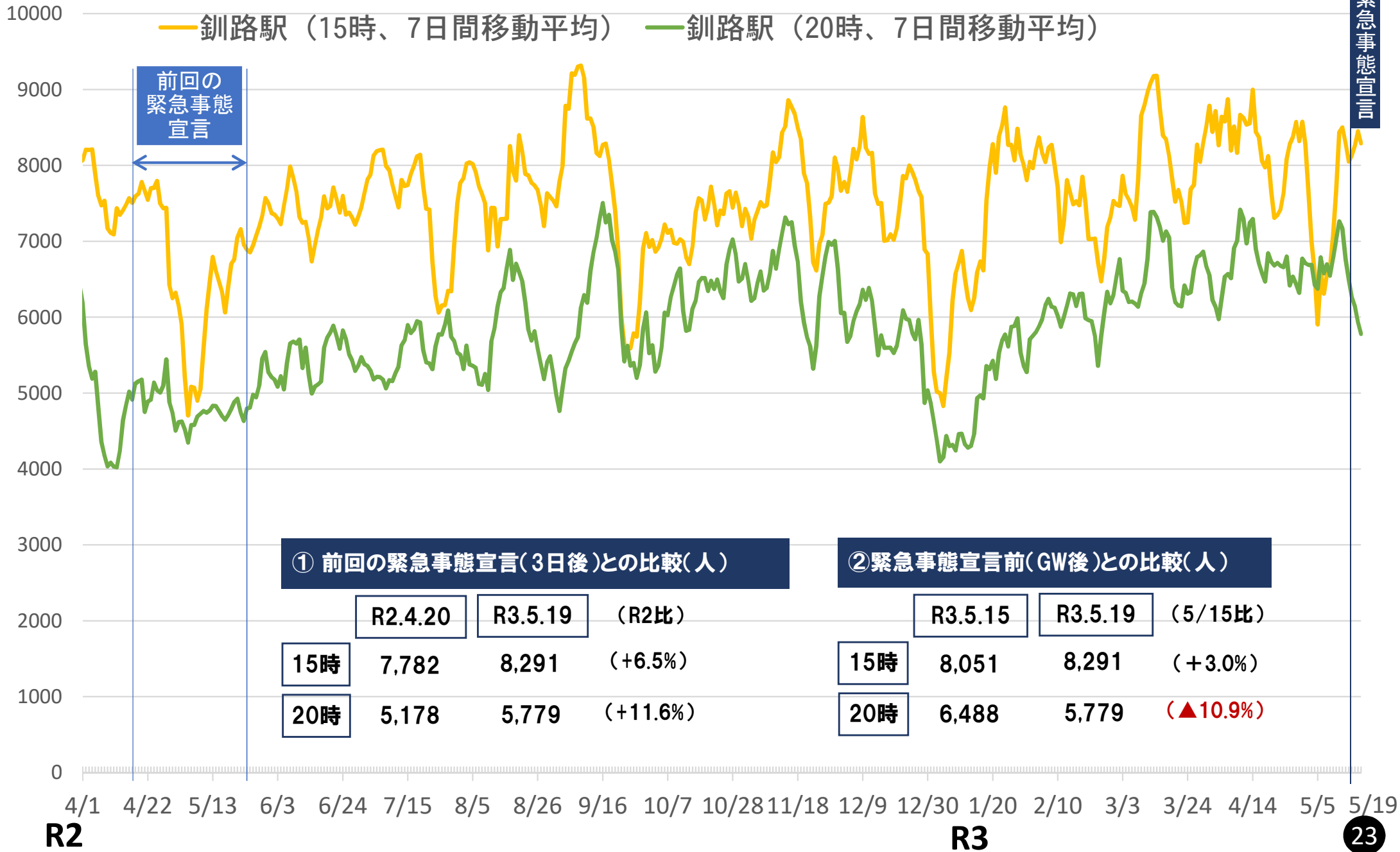
函館駅周辺の人出



帯広駅周辺の人出



釧路駅周辺の人出



集団感染の発生状況(全道)

	1月	2月	3月	4月	5月 (5/1~19)
医療施設 福祉施設	26件 (679人)	15件 (294人)	14件 (294人)	23件 (509人)	36件 (492人)
事業所等	10件 (109人)	10件 (103人)	9件 (110人)	9件 (81人)	13件 (175人)
飲食店等	15件 (174人)	5件 (43人)	8件 (96人)	14件 (102人)	13件 (129人)
学校	7件 (196人)	3件 (33人)	5件 (84人)	7件 (113人)	13件 (129人)
合 計	58件 (1158人)	33件 (473人)	36件 (584人)	53件 (805人)	75件 (925人)

※「飲食店等」には、接待をともなうもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

集団感染の発生状況(特定措置区域／それ以外)

	4/29~5/5		5/6~5/12		5/13~19	
	特定措置	それ以外	特定措置	それ以外	特定措置	それ以外
医療施設 福祉施設	8件 (142人)	1件 (5人)	9件 (153人)	1件 (30人)	16件 (142人)	2件 (31人)
事業所等	5件 (75人)	1件 (6人)	4件 (64人)	1件 (7人)	3件 (23人)	2件 (25人)
飲食店等	—	—	1件 (6人)	3件 (56人)	4件 (28人)	4件 (31人)
学校	4件 (47人)	—	6件 (70人)	—	—	4件 (34人)
合 計	17件 (264人)	2件 (11人)	20件 (293人)	5件 (93人)	23件 (193人)	12件 (121人)

※「飲食店等」には、接待をとまなうもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

総評 ①

【感染状況】

- 道内の新規感染者数は、緊急事態措置の実施以降も500人を超えて推移しており、人口当たりの感染者数は10万人当たり73.0人/週と高い水準が続いている。感染経路不明の割合や陽性率も高い水準で推移している。
- 特定措置区域である石狩振興局管内及び旭川市では、5月16日以降も増加傾向が続いており、特に、札幌市においては、新規感染者が300人を超える日が続いている。全道の感染者数の8割を占め、全道の感染者数を押し上げている。
- その他の措置区域においては、5月16日以降、横ばい傾向となっている。
- 緊急事態宣言前と比較すると、5月16日以降、全道の主要な地点において、人出は減少傾向となっている。

【医療提供体制】

- 札幌市内における入院患者数の増加傾向が続き、医療の限界とも言える状況にあるとともに、道央圏域においても、入院患者数の増加傾向が続いている状況。さらに道央圏域以外の地域においても、地域の基幹病院等においては、その機能を維持することが極めて厳しい状況となっており、このままでは怪我や急病など通常の医療が、直ちに受けられなくなる可能性も危惧される。
- 感染者の急増に伴い、療養者数も増加する中、自宅において療養となる方も増加している。

総 評 ②

【今後の対策】

- 国の分析では、従来株から変異株にほぼ置き換わったとされ、変異株の広がりを念頭に置き、全道域で人と人との接触を徹底して抑えるための対策を実施するとともに、特に特定措置区域における対策を徹底する。緊急事態措置の実施以降、初の週末を迎える中、特に週末の外出を控えていただくよう、徹底した普及啓発に取り組む。
- 感染者数が多い札幌市内においては、市内の人流の更なる低減や病床の確保など、一層の取組の強化が必要。
- また、全道において、地域における感染状況等を踏まえ、市町村と連携した普及啓発などに取り組む。
- 自宅で療養する方の増加を踏まえ、食品や日用品セットの配布やパルスオキシメーターの貸与のほか、保健所による健康観察の徹底や必要に応じた在宅医療の提供など、必要な支援を行う。